



給食だより 3月

令和5年3月1日
小倉社会事業協会
城野保育園

今年度も終わりに近づき、卒園・進級を控えた子どもたちの表情は、自信にあふれて輝いています。体も心も一年前とは見違えるほど大きくなりました。

桃の節句の由来と「はまぐり」の意味

桃の節句と呼ばれるようになったのは、旧暦の3月3日の頃に桃の花が咲くことや、桃は、魔除けの効果を持つと信じられていたことに由来します。はまぐりは、「貝殻同士がぴったりと合わさる物は2つとない」ことから縁起物とされ、女の子がよい伴侶に巡り合えるようにと、吸い物などに入れてお祝い膳として出されるようになりました。



1年を振り返ってみて

ひよこ組さん

離乳食を一生懸命食べていた子ども達も今では幼児食に移行し、自分でスプーンを持って食べられる様になりました。食欲も旺盛でおかわりをよくします。



あひる組さん

好き嫌いがはっきりしてき始め、自分の思い通りに行動したいという気持ちが強くなりました。スプーンやフォークを上手に使い、自分で食べるという意欲が湧いてきました。



りす組さん

給食の様子をみていると、「見てスプーンきれいに食べたよ」「このおかず大好き」などお話してくれます。好きなものと苦手なものが言える様になりました。また食事のマナーがわかってきました。



うさぎ組さん

フォークから箸へと練習をしています。「この野菜は何?」「ご飯・パン食べたよ」と弁当箱を見せてくれます。食事中は、騒がない、立ち歩かないなどマナーも理解出来ています。



きりん組さん

「このブロッコリー大好き」など食材の名前を言うようになりました。献立名も気になるようで、「このボルシチはどこの国の食べ物?」と聞いてきます。食事への興味が高まっています。



らいおん組さん

配膳のお手伝いや今日のクラスの人数を伝えに来てくれます。「甘酸っぱくて美味しい」「ホクホクして甘いよ」など味覚を言葉にすることが出来ます。しっかりとしたお姉さん・お兄さんになりました。

